

元町公民館



モザイクタイル Mosaic tile の散歩道

Vol.6

元町公民館 (元町)

美濃焼タイルとまちの素敵な出会い。

明治13年の明治天皇行幸の行在所となった「西浦庭園」から南へ、細く曲がりくねった道を行くと、御膳水に選ばれた井戸が残されています。周りは小さな公園で、その奥に建つのが地区の集会所である元町公民館。詳細は不明ですが、町名が決まった昭和37年から40年代の建物でしょう。三分五厘のタイルを並べて表された小鹿や花は今も色鮮やかです。

モザイクタイルを並べて具象的な絵を作ることを「アートを組む」と言いますが、本作品のアートを組んだのはこの近くにあった「中山アート」でした。父の代に創業、絵が得意だった息子の故・中山滋さんがアートを開始。昭和40年代には全国の幼稚園から受注するほどに。

最近、撮影したいと言われることが増え、絵の上に被さっていたポストなどを外したとか。小鹿の目が心なしか微笑んで見えます。

モザイクタイルミュージアム

学芸員 村山 閑

※本連載では、市内に点在する美濃焼タイルを使った建造物を紹介します